

第1回航空気象研究会の開催と講演募集のお知らせ

第1回航空気象研究会を下記要領で開催します。

日時：2007年2月2日（金）13時30分～17時30分

場所：気象庁大会議室（予定）

主題：航空機の運航に影響を及ぼす気象の観測、予報、情報提供などについて、気象学会レベルで広く交流し研究を促進するため、本年3月に日本気象学会の研究会の1つとして「航空気象研究連絡会」が設置されました。今般、同連絡会主催による第1回の研究会を開催することとしました。

近年、航空機の年間旅客数は国内便で1億人、国際便で2,000万人規模に達しており、社会活動における必要不可欠な交通手段となっている一方で、航空機は、離陸から着陸まで気象条件に大きく支配されています。飛行場や航空路の気象現象を対象とした航空気象は、一般を対象とした気象観測や天気予報とは異なる特殊性や困難性を持っています。特に、落雷、突風、マイクロバースト、タービュレンスなどの現象は航空の安全をおびやかすものとして、気象庁などの行政機関および航空事業者などがそれぞれの業務の一環として研究を推し進めているところですが、気象学の立場からより横断的・組織的に研究を押し進めていくことが重要であると考えています。

話題：今回は第1回ということもあり、「航空気象との関わり」として関連する題材を幅広く募集します。操縦士・運航管理者・航空気象予報官・航空気象観測者・各種管制官のそれぞれの立場の人から見て、航空気象に何らかの関わりがある題材であれば基本的に何でもよいと考えておりますので、奮って話題の提供をお願いいたします。

講演申し込み要領：

応募締め切り：12月1日

講演者氏名、所属、題目、要旨（400字以内）、連絡先（電話・住所・E-mail アドレス）を添えて申し込みください。

申し込み・問い合わせ先：

E-mail 又は郵送でお願い致します。

takefuru@eos.ocn.ne.jp

〒335-0011 埼玉県戸田市下戸田2-12-5

サンハイツ戸田公園702

古川 武彦

主催：航空気象研究連絡会

運営委員：赤枝健治、赤木万哲、井上 卓、小田昌人、小野寺三朗、木俣昌久、久保寺豊弘、土田信一、原岡秀樹、古川武彦、吉野勝美